

1 門司区戦没者追悼式



※写真提供 北九州市

開催概要（平成25年度）

歳事名：門司区戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：門司市民会館
 住所：福岡県北九州市門司区老松町3-2
 （JR門司港駅 徒歩15分）
 日時：平成25年5月15日（水） ※例年5月中旬開催
 参列者数：400人
 連絡先：北九州市 門司区役所 総務企画課 093-331-1881（代表）

式次第（平成25年度）

1. 開式のことば
2. 国歌斉唱
3. 黙とう
4. 追悼のことば…市長、議長、福岡県遺族連合会会長及び門司区遺族連合会会長
5. 献花
6. 閉式のことば

追悼のことば（平成25年度）

本日、ご遺族をはじめ、関係の皆様が多数ご臨席される中、門司区戦没者追悼式が執り行われるにあたり、戦没者の御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げます。

先の戦争では、激しい戦いの中、祖国を遠く離れた異郷の地で、多くの方が、家族に思いを馳せつつ、尊い生命を犠牲にされました。

また、ここ門司の地には、国内はもとより、海外への門戸となった重要な港「門司港」があり、物資の流通を担っていたために爆撃を受け、多くの方が犠牲となりました。さらに、関門海峡を封鎖するため、多くの機雷が投下され、海峡は海の墓場と化したのです。

祖国への帰還が果たせなかった方々の無念や、空襲の犠牲になられた方の苦しみ、また、残されたご遺族の消えることのない深い悲しみを拝察するとき、誠に痛恨極まりなく、悲痛な思いが胸に込み上げてまいります。

北九州市は、世界でも例のない五市の対等合併によって発足し、深刻な公害問題や産業構造の変化など、様々な困難を乗り越え、今年2月に市制50周年を迎えました。

昭和4年から、門司港を見つめ続けてきた旧大連航路上屋は、門司港の繁栄の歴史を象徴するもので、観光交流拠点として、新たな船出を待っています。また、門司港を臨む老松公園内に慰霊塔が建立され、戦争の犠牲となられた多くの方々の慰霊が行われています。昭和33年に建立された世界平和バゴダでは、戦没者を慰霊するとともに、世界平和が祈られています。

私たちは、今日の輝かしい発展が、戦後を支えていただいた皆様の、計り知れない努力の上に築かれているものであることを、決して忘れてはならないと思います。本市では、平和の大切さを広く後世に伝えるため、南九州市との連携による知覧特攻平和会館北九州展を、8月にイノベーションギャラリーで開催する予定です。

熾烈を極めた先の大戦が終わって68年もの歳月が流れ、国民の4人に3人以上が戦後生まれとなりました。本市は、長崎に投下された原子爆弾の第一目標であったことを重く受け止め、戦争の悲惨さを次の世代に伝えるため、平成22年に北九州市非核平和都市宣言を行いました。また、平和への願いが込められた「嘉代子桜・親子桜」を市内の小学校に植樹する取り組みを続け、今年、全市立小学校への植樹を終える予定です。戦争の惨禍の記憶を風化させることなく、次の世代に語り継ぎ、恒久平和の実現に向けて、不断的努力を続けていくことを固くお誓いします。

結びに、戦没者の皆様の安らかなご冥福と、ご列席のご遺族の皆様のご平安をお祈り申し上げて、追悼のことばといたします。

平成25年5月15日
 北九州市長 北橋 健治

2 小倉北区・南区合同戦没者追悼式



※写真提供 北九州市

開催概要（平成25年度）

歳事名：小倉北区・南区合同戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
会場：北九州芸術劇場 大ホール
住所：福岡県北九州市小倉北区室町1-1-1-1
（JR西小倉駅 徒歩3分）
日時：平成25年5月7日（火） ※例年5月7日開催
参列者数：約1,000人
連絡先：北九州市 小倉南区役所 総務企画課 093-951-4111（代表）

式次第（平成25年度）

1. 開式のことば
2. 国歌斉唱
3. 黙とう
4. 追悼のことば…北九州市長、北九州市議会議長、福岡県遺族連合会会長、小倉南北区遺族連合会会長
5. 献花…北九州市長、北九州市議会議長、福岡県遺族連合会会長、小倉南北区遺族連合会会長
各区遺族連合会会長、来賓
6. 献詠
7. 閉式のことば

追悼のことば（平成25年度）

本日、ご遺族をはじめ、関係の皆様が多数ご臨席される中、小倉北区・南区合同戦没者追悼式が執り行われるにあたり、戦没者の御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げます。

先の戦争では、多くの方々が戦地に向かい、祖国を思い、家族を案じつつ、戦禍に倒れ、遠い異郷の地でその尊い生命を犠牲にされました。また、国内におきましても、激しい空襲により、年齢、男女の別なく尊い命が失われました。

ここ、小倉の地は、軍の造兵廠や関連工場が集積していたことから、度重なる空襲にさらされ、多くの方々が犠牲となりました。

祖国への帰還が果たせなかった方々の無念や、空襲による猛火に包まれ、痛ましくも犠牲になられた方の苦しみ、また、残されたご遺族の消えることのない深い悲しみを拝察するとき、誠に痛恨極まりなく、悲痛な思いが胸に込み上げてまいります。

北九州市は、世界でも例のない五市の対等合併によって発足し、深刻な公害問題や産業構造の変化など、様々な困難を乗り越え、今年2月に市制50周年を迎えました。しかしながら、この発展は、戦後を支えていただいた皆様の、計り知れない努力の上に築かれているものであることを、私たちは決して忘れてはならないと思います。この節目となる年に、本市では、平和の大切さを広く後世に伝えるため、南九州市との連携による知覧特攻平和会館北九州展を、8月に開催する予定です。

熾烈を極めた先の大戦が終わって68年もの歳月が流れ、国民の4人に3人以上が戦後生まれとなりました。北九州市は、長崎に投下された原子爆弾の第一目標であったという事実を重く受け止め、戦争の悲惨さを次の世代に伝えるため、平成22年に北九州市非核平和都市宣言を行いました。また、平和への願いが込められた「嘉代子桜・親子桜」を市内の小学校に植樹する取り組みを続け、今年、全市立小学校への植樹を終える予定です。戦争の惨禍の記憶を風化させることなく、次の世代に語り継ぎ、恒久平和の実現に向けて、不断の努力を続けていくことを固くお誓いします。

結びに、戦没者の皆様の安らかなご冥福と、ご列席のご遺族の皆様のご平安をお祈り申し上げて、追悼のことばといたします。

平成25年5月7日
北九州市長 北橋 健治

3 若松区戦没者追悼式



※写真提供 北九州市

開催概要（平成25年度）

歳事名：若松区戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
会場：若松市民会館
住所：福岡県北九州市若松区本町3-13-1
(JR若松駅 徒歩3分)
日時：平成25年10月24日(木) ※例年10月下旬開催
参列者数：約500人
連絡先：北九州市 若松区役所 総務企画課 広報広聴係 093-761-5321 (代表)

式次第（平成25年度）

1. 開式のことば
2. 国歌斉唱
3. 黙とう
4. 追悼のことば
5. 献花
6. 献奏
7. 献詠
8. 閉式のことば

追悼のことば（平成25年度）

本日、ご遺族をはじめ、関係の皆様が多数ご臨席される中、若松区戦没者追悼式が執り行われるにあたり、戦没者の御霊に対し、慎んで哀悼の誠を捧げます。

先の大戦では、多くの方々が、家族のため、祖国のために戦い、その尊い命を犠牲にされました。また、激しい空襲により、年齢、男女の別なく尊い命が奪われました。

ここ若松の地におきましても、昭和19年6月16日に九州で最初の空襲を受け、その後の数次にわたる爆撃機の来襲により、多くのかけがえのない人命が失われました。

空襲による猛火に包まれ、痛ましくも犠牲となられた方々の苦しみ、祖国への帰還が果たせなかった方々の無念や、最愛の肉親を失われたご遺族の深い悲しみを拝察するとき、誠に痛恨極まりなく、悲痛な思いが胸に迫ってまいります。

高塔山公園には、忠霊塔が建立されています。これは、戦争が終わって十年となる頃、市民の皆様の中に、戦争犠牲者に対する追悼や、世界平和への想いが広まったことから、募金を集め、昭和32年に建立されたものです。私もお参りさせていただき、当時の若松市民の皆様のお亡くなりになった方々への追悼への想い、平和への願いが伝わってまいりました。

戦後68年が過ぎ去り、戦争を知らない世代が増えてまいりましたが、戦争の惨禍の記憶を広く後世に伝え、恒久平和を祈念することは、我々の責務であります。

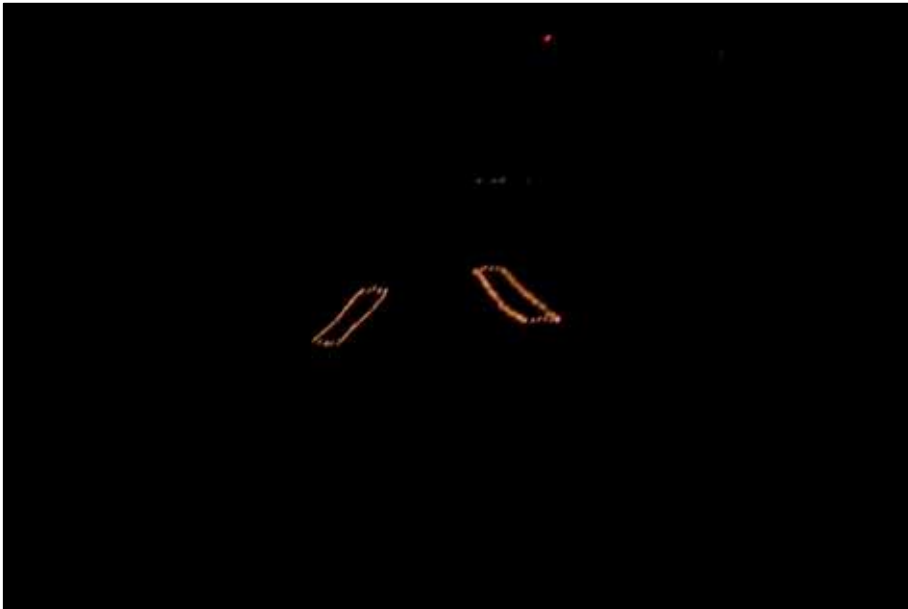
本市は、長崎に投下された原子爆弾の第一目標であったことを重く受け止め、戦争の悲惨さを次の世代に伝えるため、平成22年に非核平和都市宣言を行いました。今年8月には、市制50周年を記念して、「知覧特攻平和会館 北九州展」をイノベーションギャラリーで開催し、大変多くの方にご来場いただき、知覧特攻平和会館が所有している戦艦機の実物のプロペラや操縦席のレプリカなどを広く紹介することができました。また、平和への願いが込められた「嘉代子桜・親子桜」を市内の小学校に植樹する取り組みを続け、今年、全市立小学校への植樹を終える予定です。

今日の平和と繁栄は、戦争によって命を落とされた方々の尊い犠牲の上に築かれたものであることを、私たちは決して忘れず、戦争のない平和な世界の実現に向けて、不断の努力をお誓いいたします。

結びに、戦没者の皆様のご冥福と、ご列席のご遺族の皆様のご平安をお祈り申し上げて、追悼のことばといたします。

平成25年10月24日
北九州市長 北橋 健治

4 皿倉山 八文字焼



※写真提供 八幡東区

開催概要（平成25年度）

歳事名：皿倉山 八文字焼

会場：帆柱自然公園

住所：福岡県北九州市八幡東区大字尾倉（皿倉山9合目付近）

日時：平成25年8月8日（木）、13（火）、14日（水）、15日（木）

※例年8月8日及び8月13日、14日、15日開催

参列者数：_____

連絡先：北九州市 八幡東区役所 まちづくり整備課 093-671-0801（代表）

趣 旨

昭和20年8月8日の八幡大空襲による戦没者の慰霊のため、
また八幡の平和のシンボルとして実施している。

出典：「北九州市 八幡東区ホームページ」より

概 要

例年、8月8日及び8月13日、14日、15日の4日間、皿倉山
9合目付近に電球を「八」の形状に設置し、19：30～22：00
の間点灯している。

5 戦災殉難者之碑



基本情報

所 在：谷口霊園
住 所：福岡県北九州市八幡東区高見3-7
(JR八幡駅より 西鉄バス「七条」下車 徒歩15分)
建 立 者：八幡市
建 立 年：昭和30年8月8日(昭和60年3月改修)
連 絡 先：北九州市 八幡東区役所 まちづくり整備課 093-671-0801 (代表)

碑 文

【表】

戦災殉難者之碑

【裏】

ここに祭る千八百余柱の霊は昭和二十年八月八日鉄都大空爆の嵐にあえなくも散った尊い殉難の人たちである
過ぐる日の苦難を省み、明るい未来を指す者の、これら犠牲の人の身に弔慰の涙そそぐは、この國に再びかかる惨禍なきを願う万人の愛と祈りの心である。

この祈りもて、われら真に幸福な世代の建設に立ち上る市民のために、この碑を建てる

昭和三十年八月八日
八幡市長 守田道隆

由 来

慰霊碑建立の由来

この慰霊碑 建立にあたっては当時
槻田地区在住の文化団体八幡自由人
クラブの人達が碑文に記された願いを
こめてこれを発議し熱意のある運動の
結果実現したものである

なお慰霊碑の老朽化にともない
昭和60年3月改修工事が行われた

6 慰霊塔



基本情報

所 在：小伊藤山公園
住 所：福岡県北九州市八幡東区尾倉2-8
(JR八幡駅 徒歩5分)
建 立 者：八幡市
建 立 年：昭和27年
連 絡 先：北九州市 八幡東区役所 まちづくり整備課 093-671-0801 (代表)

碑 文

【表】

慰霊塔

説 明 文

この地一帯は、丘陵地で小伊藤山と呼ばれ、その麓まで家屋が建ち並んでいた。太平洋戦争となり北から南から、また西から、防空壕が築造された。昭和二十年八月八日午前十時、米空軍による焼夷弾攻撃で、附近一帯は焼野原となり、この防空壕に避難した人々は、火煙に包まれ全員窒息死した。その数三百人といはれている。戦災復興区画整理事業により、この地を公園とし、戦災死者を追悼するため、昭和二十七年慰霊塔を建立した。

7 八幡東区・西区合同戦没者追悼式



※写真提供 北九州市

開催概要（平成25年度）

歳事名：八幡東区・西区合同戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：八幡市民会館
 住所：福岡県北九州市八幡東区尾倉2-6-5
 （JR八幡駅 徒歩7分）
 日時：平成25年10月10日（木） ※例年10月初旬開催
 参加者数：約500人
 連絡先：北九州市 八幡西区役所 総務企画課 093-642-1441（代表）
 ※毎年、八幡東区と八幡西区で持ち回り開催

式次第（平成25年度）

1. 開式のことば
1. 国歌斉唱
1. 黙とう
1. 追悼のことば…北九州市長、北九州市市議会副議長、福岡県遺族連合会会長、八幡西区遺族連合会会長
1. 献花…北九州市長、北九州市市議会副議長、福岡県遺族連合会会長、各区遺族連合会会長、
遺族代表、来賓、八幡東区長・八幡西区長
1. 献詠…河野鶴聲
1. 謝辞…八幡東区遺族連合会長
1. 閉式のことば

追悼のことば（平成25年度）

本日、ご遺族をはじめ、関係の皆様が多数ご臨席される中、八幡東・西区合同戦没者追悼式が執り行われるにあたり、戦没者の御霊に対し、慎んで哀悼の誠を捧げます。

先の大戦では、多くの方が、家族のため、祖国のために戦い、その尊い命を犠牲にされました。また、激しい空襲により、年齢、男女の別なく尊い命が失われました。

なかでも、ここ八幡地区は、八幡製鉄所を有していたことから、幾度となく空襲を受けており、特に、昭和20年8月8日には、約120機ものB29爆撃機が来襲し、火の雨のように降る焼夷弾で、約2,500人の方が死傷し、市街地の大半を焼失しました。八幡東区の谷口霊園には、当時の空襲で亡くなった約1,800柱の御霊を慰霊するため、「八幡大空襲戦災殉難者の碑」が、小伊藤山には、その待避壕の中で犠牲となった約300人の方への慰霊塔が建立されております。

また、八幡西区の大膳には、B29爆撃機に体当たりした兵士の功績を称えた「体当たり勇士の碑」が建てられ、御霊のご冥福と、平和が祈り続けてこられました。

今年8月には、市制50周年を記念して、「知覧特攻平和会館 北九州展」をイノベーションギャラリーで開催し、大変多くの方にご来場いただき、知覧特攻平和会館が所有している戦闘機の実物のプロペラや操縦席のレプリカなどとあわせて、八幡の大空襲や八幡西区の「体当たり勇士の碑」を広く紹介することができました。

戦後、68年が経過し、戦争を知らない世代が増えてまいりました。戦争の惨禍の記憶を広く後世に伝え、恒久平和を祈念することは、我々の責務であります。本市は、長崎に投下された原子爆弾の第一目標であったことを重く受け止め、戦争の悲惨さを次の世代に伝えるため、平成22年に非核平和都市宣言を行いました。また、平和への願いが込められた「嘉代子桜・親子桜」を市内の小学校に植樹する取り組みを続け、今年、全市立小学校への植樹を終える予定です。

今日の平和と繁栄は、戦争によって命を落とされた方々の尊い犠牲の上に築かれたものであることを、私たちは決して忘れてはならないと思います。平和な世界の実現に向けて、不断的努力をお誓いいたします。

結びに、戦没者の皆様のご冥福と、ご列席のご遺族の皆様のご平安をお祈り申し上げて、追悼のことばといたします。

平成25年10月10日
 北九州市長 北橋 健治

8 戸畑区戦没者追悼式



※写真提供 北九州市

開催概要（平成25年度）

歳事名：戸畑区戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：北九州市立戸畑市民会館 中ホール
 住所：福岡県北九州市戸畑区汐井町1-6
 （JR戸畑駅 徒歩1分）
 日時：平成25年10月17日（木） ※例年10月中旬開催
 参列者数：151人
 連絡先：北九州市 戸畑区役所 総務企画課 広報広聴係 093-881-0039（直通）

式次第（平成25年度）

1. 開 式
2. 国 歌 斉 唱
3. 黙 と う
4. 追 悼 の こ と ば
5. 献 花
6. 献 舞
7. 閉 式

追悼のことば（平成25年度）

本日、ご遺族をはじめ、関係の皆様が多数ご臨席される中、戸畑区戦没者追悼式が執り行われるにあたり、戦没者の御霊に対し、慎んで哀悼の誠を捧げます。

先の大戦では、多くの方々が、家族のため、祖国のために戦い、その尊い命を犠牲にされました。また、激しい空襲により、年齢、男女の別なく尊い命が失われました。

この戸畑地区におきましても、昭和19年6月16日、九州で最初の爆撃を受け、その後の数次にわたる爆撃機の来襲により、多くのかけがえのない人命が失われました。

空襲の犠牲となられた皆様、遠い戦地から祖国への無事の帰還が果たせなかった皆様、最愛の肉親を失われたご遺族の皆様の中に思いを馳せるとき、深い悲しみと痛恨の情が切々と胸に迫ってまいります。

戸畑区出身の「宗 左近」という詩人・フランス文学者がいらっしゃいます。東京大空襲の火の海の中で、一緒に逃げ惑う母親の手を離してしまったばかりに、眼前で母親を失った断罪の意識から、『母よ あなたにこの一巻を これは あなたが 炎となって 炎やすい紙でつくった あなたの墓です そして わたしの墓です 生きながら 葬るための 墓です 炎えやまない あなたとわたしを もろともに 母よ』という長編詩集、「炎える母」を昭和42年に発表し、第6回藤村記念歴程賞を受賞しました。故郷への愛着が深かった宗氏の自筆原稿等の資料が、北九州市に寄贈されています。

戦後68年が過ぎ去り、戦争を知らない世代が増えてまいりましたが、戦争の惨禍の記憶を広く後世に伝え、恒久平和を祈念することは、我々の責務であります。

本市は、長崎に投下された原子爆弾の第一目標であったことを重く受け止め、戦争の悲惨さを次の世代に伝えるため、平成22年に非核平和都市宣言を行いました。今年8月には、市制50周年を記念して、「知覧特攻平和会館 北九州展」をイノベーションギャラリーで開催し、大変多くの方にご来場いただき、知覧特攻平和会館が所有している戦闘機の実物のプロペラや操縦席のレプリカなどを広く紹介することができました。また、平和への願いが込められた「嘉代子桜・親子桜」を市内の小学校に植樹する取り組みを続け、今年、全市立小学校への植樹を終える予定です。

今日の平和と繁栄は、戦争によって命を落とされた方々の尊い犠牲の上に築かれたものであることを、私たちは決して忘れず、戦争のない平和な世界の実現に向けて、不断の努力をお誓いいたします。

結びに、戦没者の皆様の安らかなご冥福と、ご列席のご遺族の皆様のご平安をお祈り申し上げて、追悼のことばといたします。

平成25年10月17日
 北九州市長 北橋 健治

9 洲崎地藏尊



基本情報

所 在：宗玖寺
住 所：福岡県福岡市東区馬出4-1-11
(福岡地下鉄 馬出九大病院前駅 徒歩5分)
建 立 者：石村萬盛堂 石村前社長
建 立 年：昭和20年代
連 絡 先：宗玖寺 092-651-4396

碑 文

【表】

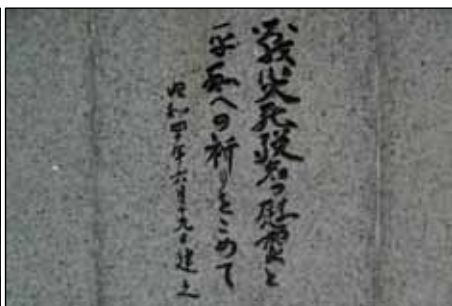
洲崎地藏尊

説 明 文

洲崎地藏尊縁起

大東亜戦争の悲報に到る昭和廿年六月十九日午後九時突如として福岡市は米軍機 B29 の空襲をうけ一瞬にして火の海と化した。その中で最も被害の甚大であつた此の周辺で懐かしい肉親や近隣の人々の尊い御魂が数多く失われた。私共は今等不幸な方々の上に深く同情を致し併せて当町出身の戦歿英霊をも迎え其の数五十有柱こゝに供養の碑を建立し名づけて洲崎地藏尊と呼び是等の尊い犠牲をして無意義たらしめぬようこころしてその御霊を慰めるのと共に人類永遠の平和を郷土守護の礎たれとの祈りをこむるものである。請ひ願わくば有縁無縁行きずりの人よ一掬の涙を持って合掌を手向け賜わんことを。

10 戦災記念碑



基本情報

所 在： 冷泉公園
住 所： 福岡県福岡市博多区上川端町7
(福岡市地下鉄 中洲川端駅 徒歩3分)
建 立 者： 福岡市戦災死没者慰霊塔建設委員会
建 立 年： 昭和40年6月19日
連 絡 先： 福岡市社会福祉協議会 総務課 092-751-1121

碑 文

【表】

戦災記念碑

【裏】

戦災死没者の慰霊と
平和への祈りをこめて
昭和四十年六月十九日建立

11 福岡市戦災引揚死没者追悼式



開催概要（平成25年度）

歳事名：福岡市戦災引揚死没者追悼式
 会場：冷泉公園内 戦災記念碑前
 住所：福岡県福岡市博多区上川端町7
 （福岡市営地下鉄 中洲川端駅 徒歩4分）
 日時：平成25年6月19日（水） ※例年6月19日開催
 参列者数：250人
 連絡先：福岡市社会福祉協議会 総務課 092-751-1121

式次第（平成25年度）

1. 開式のことば
2. 黙 祷
3. 主催者式辞
4. 来賓追悼のことば…市長、市議会議長
5. 電文拝読
6. 献 花
7. 遺族代表謝辞
8. 閉式のことば

謝 辞（平成25年度）

遺族を代表いたしまして、一言お礼の言葉を申し上げます。

本日は、「平成25年度福岡市戦災引揚死没者追悼式」が、多くの方々のご参列のもとに、厳粛に執り行われましたことを深く感謝申し上げます。

あの忌まわしい戦災の日から、68年という長い歳月が経ちました。福岡大空襲の、あの悲惨な夜を思い出すたび、今でも辛く、悲しく、胸が張り裂ける思いで一杯でございます。私は、当時6歳で被災し、ともに避難していた祖母、姉、二人の妹、そして臨月の母を空襲で失いました。その悲惨な光景は今もなお鮮明にまぶたに焼け付き、その時の悲しみ、苦しみの記憶は、時が経っても色あせることはありません。

また、日本を遠く離れた異境の地から引き揚げる途中、再び祖国の土を踏むことなく、多くの方々が無念の最期を遂げられました。私も、姉が引き揚げ途中に亡くなりましたが、他のご遺族の方々のご心中に思いを致しますと、悲しみと哀惜の念、新たなるものがございます。

戦後、残された遺族は、力を合わせて立ち上がり、かけがえのない肉親を奪われた深い悲しみを乗り越えながら、助け合い、生き抜いてまいりました。

現在、戦争を知らない世代がその大方を占める時代へと移り変わってきておりますが、今日のこの平和で豊かな日本は、多くの犠牲の上に築かれたのだということを忘れてはなりません。

本日の式典に臨み、私たちは、二度とあの悲しく、愚かな歴史を繰り返さないとの決意を新たに、先の戦争から学んだ多くの教訓を風化させることなく、後世にしっかり語り継いでいくことをここに固くお誓いいたします。

最後に、ご多忙中にもかかわらず、ご参列いただきましたご来賓の方々、そして地域の方々や博多小学校の皆様に対しまして、心からお礼を申し上げ、簡単ではございますが遺族を代表しての謝辞といたします。

平成25年6月19日
 遺族代表 樋口 泰助

12 戦災地蔵



基本情報

所 在：沖濱稻荷神社
住 所：福岡県福岡市博多区古門戸町3-8
(福岡市地下鉄 中洲川端駅 徒歩5分)
建 立 者：不明
建 立 年：昭和25年6月19日(平成3年9月24日再建)
連 絡 先：沖濱稻荷神社責任役員 株式会社フチカ 092-281-4445

碑 文

【台座正面・右】

戦災地蔵

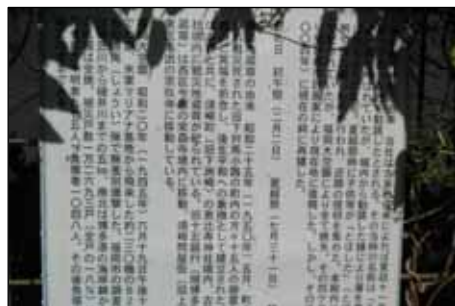
【左】

世話人
(個人名)

【裏】

昭和二十五年
六月十九日建立

13 戦災地蔵尊



基本情報

所 在：黒田神社
住 所：福岡県福岡市博多区須崎町13-25
(福岡市地下鉄 中洲川端駅 徒歩8分)
建 立 者：戦災犠牲者遺族
建 立 年：昭和25年5月
連 絡 先：個人であり記載せず

碑 文

【台座正面】

戦災地蔵尊

【台座右】

戦死者

(故人名)

説 明 文

戦災地蔵尊の由来 昭和二十五年（一九五〇年）五月、町内の方々により福岡大空襲で犠牲となられ戦災死された旧下対馬小路の町内の方々十五人の御霊と、当町出身の戦死者の方々四人の御霊のご冥福を祈念し、後生平和への象徴として建立された。旧奈良屋校地区（死者三〇八人）には本尊と共に、須崎町（旧下洲崎）の恵比寿神社境内、古門戸町（旧中対馬小路）の沖濱稲荷神社境内に戦災地蔵尊が祀られている。旧十五銀行（現博多座）での犠牲者を祀った「じゅうご地蔵尊」は西区今宿の栄昌寺境内に移動、須崎問屋街（旧上須崎町）入口東側の「須崎地蔵尊」は東区馬出の宗玖寺に移動している。

14 戦災地藏菩薩



基本情報

所 在：須ヶ崎恵比須神社
住 所：福岡県福岡市博多区須崎町13-8
(福岡市地下鉄 中洲川端駅 徒歩8分)
建 立 者：一の組婦人会員一同
建 立 年：昭和26年5月
連 絡 先：個人であり記載せず

碑 文

【台座・表】

戦災地藏菩薩

【台座右面】

(故人名)

【台座左面】

昭和廿年六月十九日空襲に依り当町内
戦災殉難者の霊を慰め茲に地藏菩薩を建立する
昭和廿六年五月
発起人 新森、沢田、近藤、古本、米倉、大家外
一の組婦人会員一同

説明文

戦災地藏菩薩由来

昭和十二年支那事変勃発より
同二十年八月十五日御聖断に
より終戦となるその間当町出
身の戦死者の霊十九柱 又同
二十年六月十九日の大空襲に
より全市一瞬にして廃墟とな
るその火災の中に最後迄郷土
を守り痛ましくも戦災死され
た町内の方々五十九人の霊を
慰むるために昭和二十六年五
月町の聖地に地藏菩薩像を建
立し国家郷土のため犠牲とな
られし尊い御霊の御冥福を永
遠に祈念申上げるとともに後
世平和への誓を新たにす
る象徴とし信仰の誠を捧ぐる次
第であります
昭和四十年六月十九日
殉難二十周年
下洲崎町
例祭日 六月十九日
八月二十四日

15 戦災地藏尊



基本情報

所 在： 西方寺
住 所： 福岡県福岡市博多区奈良屋町10-11
(福岡市地下鉄 呉服町駅 徒歩8分)
建 立 者： 不明
建 立 年： 昭和25年
連 絡 先： 西方寺 092-291-1228

碑 文

【表】

古門戸町

(故人名)

経 緯

昭和通り博多五町信号、バス停から北側に約二〇〇メートル入ったところにある。浄土宗西方寺の北条氏の家紋の入った大扉の山門をくぐると、右手に小さな地藏堂がある。大小二体のお地藏さんが立っている

が、右側の小さい方が戦災地藏尊で、昭和二十五年建立と彫られている。

住職の話では、戦災死した無縁仏を供養するために祀っているそうだ。刻まれた四人の名前は判読不能だったが、「古門戸町」という文字だけが確認できる。

(後略)

出典：川口勝彦・首藤卓茂著「福岡の戦争遺跡を歩く」（海鳥社）より

16 川端飢人地藏尊



基本情報

所 在：博多ワシントンホテルプラザ隣
住 所：福岡県福岡市博多区中洲2-8-33
(福岡市地下鉄 中洲川端駅 徒歩4分)
建 立 者：不明
建 立 年：昭和20年代
連 絡 先：上川端町地藏組合 個人宅のため記載せず

碑 文

【卒塔婆の文】

南無阿弥陀佛 飢人地藏尊大菩薩 大施餓鬼
享保年間飢餓死之諸精霊並戦死戦災死之諸霊 追福増進菩提

説 明

享保飢饉のときのいわゆる飢人地藏の一つであるが、戦後、戦死者・戦災死者も合わせて供養するようになった。お地藏様の後ろの卒塔婆にその旨が書き込まれており、外からは見えないが、地藏尊の横に入ると読むことができる。

出典：川口勝彦・首藤卓茂著「福岡の戦争遺跡を歩く」（海鳥社）より

17 福岡市戦没者合同追悼式



開催概要（平成25年度）

歳事名：福岡市戦没者合同追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：福岡市民会館
 住所：福岡市中央区天神5-1-23
 （福岡市地下鉄 天神駅より 西鉄バス「市民会館前」下車 徒歩4分）
 日時：平成25年6月19日（水） ※例年6月19日開催
 参列者数：400人
 連絡先：福岡市 保健福祉局 総務課 092-711-4493（直通）

式次第（平成25年度）

1. 開式のことば…福岡市保健福祉局長
2. 国家斉唱
3. 黙祷
4. 主催者式辞…福岡市長
5. 来賓追悼のことば…福岡県知事、福岡市議会議長、福岡市遺族会連合会会長、福岡市社会福祉協議会会長
6. 献花
7. 閉式のことば…福岡市保健福祉局理事

式辞（平成25年度）

今日ここに、多数のご遺族をはじめ、ご来賓の方々、市民の皆様にご参列いただき、福岡市戦没者、戦災死没者並びに引揚げ死没者の合同追悼式を執り行うにあたり、主催者を代表いたしまして式辞を申し上げます。

あの激しかった先の大戦では、戦没された方々は、ご家族や祖国の安泰と繁栄を信じ、わが身を顧みず、中国大陆や遠い太平洋、また酷暑、酷寒の地で、祖国の地を思いながら、その尊い命を捧げられました。

また、六十八年前の今日六月十九日、この福岡の町は大空襲に見舞われ、またたく間に火の海と化し、多くの方が犠牲になりました。

さらに、海外からの引揚げの途中、さまざまな苦難に遭われ、祖国の土を踏むことなく亡くなられた方々もたくさんおられます。戦禍の犠牲となられた方々の無念の気持ちを思いすると、胸がしめつけられる思いでございます。改めて、ご冥福をお祈りいたします。

ご遺族の皆様方におかれましては、今なお六十八年前の深い悲しみの気持ちがよみがえってこられることと思います。そして、その後の、言葉では言い尽くせない幾多の困難を乗り越えられながら、険しい道のりを歩んでこられたご遺族の皆様方のご苦労に対し、心より敬意を表します。

私たち福岡市150万の市民は、このような深い悲しみの歴史があったことを決して忘れることなく、後世に語り継いでいくことこそ、今を生きる私たちの責務であると、信じるものであります。

今日、わが国は、平和国家として着実な歩みを続けており、また、世界平和の実現のために果たすべき役割にも、ますます大きな期待が寄せられています。

私は、戦禍の犠牲となられた方々の、祖国の発展への思いを深く心に刻み、恒久平和と人々の幸福、そして私たちのふるさとである福岡市のさらなる発展のために、今後とも全力を尽くしてまいります。

結びに、御霊が永遠に安らかであるようお祈りいたしますとともに、ご遺族の皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、式辞といたします。

平成25年6月19日
 福岡市長 高島 宗一郎

18 戦災復興記念群像



基本情報

所 在：西中洲公園
住 所：福岡県福岡市中央区天神1-16
(福岡市地下鉄 天神駅 徒歩3分)
建 立 者：福岡市
建 立 年：昭和47年7月18日
連 絡 先：福岡市 中央区 地域管理部 維持管理課 公園係 092-718-1081 (直通)

碑 文

【表】

昇る
生まれる
歩く

富永朝堂 作

説 明 文

福岡市は第二次世界大戦末期の昭和二十年六月十九日午後十時三十分ごろから約二時間にわたり、米空軍B二九爆撃機約六十機による焼い弾攻撃を受け、都心部のほとんどが焦土と化した。その被災状況は、面積約四平方キロメートル、人口約六万人、戸数約一万三千戸に及んだ。

昭和二十年八月十五日、終戦を迎えて国は全国百十五都市の戦災復興の急務に鑑み、復興の基本計画を策定するとともに、特別都市計画法を制定した。本市もこれに基づき昭和二十二年一月二十二日福岡都市計画復興土地区画整理事業の認可を得て事業に着手した。事業は、混乱した戦後の社会状況のなかで幾多の困難はあつたが、関係者の協力を得て着手以来二十五年の歳月を経て、昭和四十七年二月二十二日完了するに至った。ここに事業完成の業績を顕彰し、記念群像を建立する。

福岡市長 阿部源蔵

補 記

碑文に記されている福岡大空襲の規模については昭和50年に明らかにされた米国防総省の機密文書によれば、爆撃航空機B29の数は、221機と記録されている。

19 戦災死者供養塔



基本情報

所 在： 簀子公園
住 所： 福岡県福岡市中央区大手門3丁目
(福岡市地下鉄 大濠公園駅 徒歩7分)
建 立 者： 簀子校区有志、簀子警防団一同
建 立 年： 昭和22年6月19日
連 絡 先： 不明

碑 文

【表】

戦災死者供養塔

【裏】

昭和二十年六月十九日夜ノ
大空襲ニ依リ簀子校区
内ニテ百七十六名戦災犠牲トナ
ル依ッテコニ校区内生存者有志
相計リ供養塔ヲ建立ス
昭和二十二年六月十九日

発起代表者 田中留吉
簀子校区内 有志一同
簀子警防団 団員一同

20 無縁仏地蔵尊



基本情報

所 在：圓應寺

住 所：福岡県福岡市中央区大手門 3-1-7
(福岡地下鉄 大濠公園前駅 徒歩 5 分)

建 立 者：圓應寺

建 立 年：戦前 ※昭和 30 年代「簀子戦災死者供養塔」が建てられた敷地の公園整備にともない、葬られていた遺骨をこの地藏尊に移した。

連 絡 先：圓應寺 092-761-1454

碑 文

【表】

南無阿彌陀佛

経 緯

昭和二十年六月十九日、さらに過酷な運命が待ち受けていた。福岡大空襲である。アメリカ軍の戦略爆撃計画が実行されたのだ。マリアナ諸島を出発した B 29 爆撃機の巨大編隊二百三十九機が九州を北上、背振山系から福岡上空に到達すると 23 時 11 分、容赦ない焼夷弾投下が開始された。日本側が応戦するも高射砲はほとんど命中せず、なすすべもなかったと聞く。赤や黄色の閃光を周囲に放ちながらアイスクャンデーのような形状の焼夷弾が「ヒューシュルル」と不気味な金属音を立てて暗い夜空を切り裂いた。

(中略)

博多や天神を中心に爆撃は約 2 時間にわたって行われ、東西は御笠川から樋井川まで、南北は博多湾海岸線から櫛田神社・大濠公園までの一帯が焼失した。実に福岡市の 3 分の 1 の家屋が戦火に焼かれたのである。市内でもとりわけ奈良屋、冷泉、大浜、大名、簀子 5 校区の被害が激しく、特に簀子校区はわずかに数軒を残してすべての家屋が全焼したと記録がある。

(中略)

当時の発表では、簀子校区の死者百七十六名、そのうち小学校児童二十四名であった。ムシロが敷かれただけの墓地の一角に真っ黒に焼け焦げた死体がズラリと並んだのである。あまりにも無残な姿に発する言葉は見つかるものではない。まもなく墓地と校庭で茶罷に付され、今その場所には慰霊塔が建っている。

出典：三木和信著「ひまわり」より

21 じゅうご地蔵



基本情報

所 在： 栄昌寺
住 所： 福岡県福岡市西区今宿町491
(JR今宿駅 徒歩19分)
建 立 者： 遺族の皆様、栄昌寺婦人会（移設新築）
建 立 年： 昭和30年6月18日（平成14年5月移設）
連 絡 先： 栄昌寺 092-807-0671

碑 文

なし

説 明 文

じゅうご地蔵尊の由来

第二次世界大戦末期の昭和廿年（一九四五）六月十九日
福岡大空襲の際、かねて避難所に目されていた元十五銀行ビル
（現博多バレイン、博多座）の地下室に退避した地域の人達のうち、
壁が高温化する危険を予感して無理にシャッターを揚げ屋外に
逃れた人は助かったが、周囲総ての火災で電源が切断された後の
地下室はシャッターの開閉できず、外部の人は地下室の危急存亡に
一人として気づくことなくただ必死に東公園目差して逃れつつあった。
高温はじわじわ炎熱の地獄と化し閉じ込められた六十三名の人達から
滲み出た脂汗が、踝を没する深さの溜となる惨状を呈し全員そこで
生命を落とされた。同三十年六月十八日戦災十周年に際し遺族の
皆さんが発起人となり博多区上川端町栄昌寺境内に地藏様を建
立された。「十五」ビルと「銃後」並びに「自由御」地藏の三つの言葉を
祈りの心として「じゅうご地蔵尊」と稱名された。焼夷弾で伽藍総てが
灰燼に帰した同寺は半世紀ぶりに西区今宿町へ移転復興するに伴い
この地藏様も同寺内に移られたが歳月を重ねる間に尊像の傷みも
増しつつあり、この度栄昌寺婦人会が浄財を拠出して堂宇を新築
寄進しました。戦火により非愼の生涯を了えられた人達の供養と、
戦争の悲惨さ更に平和の尊さを、この地藏様を体していつまでも後世
に語り伝えたいと念ずるものです。

平成十四年五月吉辰

浄土宗 栄昌寺婦人会

22 大牟田空襲の碑



基本情報

所 在： 普光寺公園
住 所： 福岡県大牟田市今山2538
（JR大牟田駅より 西鉄バス「普光寺」下車 徒歩10分）
建 立 者： 大牟田の空襲を記録する会、平和モニュメントをつくる会
建 立 年： 平成6年7月27日
連 絡 先： 大牟田の空襲を記録する会事務局 0944-58-3018

碑 文

【表】

大牟田空襲の碑

空赤く燃えひろがれど壕の中
寄れる亡骸を見きわめ難し
山本和夫

【裏】

大牟田市は、十五年戦争末期、アメリカ軍によって、つぎのように五回の空襲を受けた。

一九四四年十一月二十一日

一九四五年 六月 十八日

同 年 七月二十七日

同 年 八月 七日

同 年 八月 八日

これによって、大牟田の市街地は瓦礫の原と化し、死傷者およそ三千人、罹災家屋一万二千戸以上という多大の犠牲を出した。

アララギ派の歌人山本和夫も空襲によって妻子を失った。この碑に刻まれた歌は、その直後に詠まれた十一首の中の一詩である。

ここに、大牟田の空襲を歴史に留め、恒久の平和を祈念して、この碑を建立する。

一九九四年七月二十七日

大牟田最大の空襲の記念日に

大牟田の空襲を記録する会

平和モニュメントをつくる会

23 藤田町 被爆戦没者之碑



基本情報

所 在：天満神社
 住 所：福岡県大牟田市藤田町743
 （JR大牟田駅より 西鉄バス「船津町」下車 徒歩12分）
 建 立 者：藤田町被爆戦没者の碑建立委員会
 建 立 年：平成7年8月7日
 連 絡 先：藤田町被爆戦没者の碑保存会 0944-56-5995

碑 文

【表】

藤田町被爆戦没者之碑

【裏】

碑 文

あの悲惨な太平洋戦争が終わってから、五十年の歳月が流れた。
 わたしたちの住む藤田町とその周辺では、昭和二十年八月七日の昼
 大牟田第四回空襲の際、米軍機撃墜によって甚大な被害を被った。
 被弾した米軍機は空中分解して墜落し、積んでいた爆弾二十数発は
 藤田本村の民家に落下し大爆発した。そのためこの付近は壊滅に近
 い被害を受け、その惨状は地獄さながらの様相を呈した。被爆によ
 る死者は百人以上であった。また中原では、六月十八日夜、第二回
 空襲で六人が亡くなった。

藤田町で被爆死された人々および戦没者の霊を慰め二度と戦争の
 悲劇を繰り返すことのない恒久の平和を願うために町内町外の多数
 の人々のご協力により、「藤田町被爆戦没者の碑」を建立する。

平成七年八月吉日

藤田町被爆戦没者の碑建立委員会

24 戦災死者之霊碑



基本情報

所 在：小頭町公園
 住 所：福岡県久留米市小頭町7
 （西鉄電車 西鉄久留米駅 徒歩14分）
 建 立 者：久留米市長 山下善助、同助役 主計貞二、久留米市慰霊会長 野村福太郎、仏教会長 阿里燈
 建 立 年：昭和27年8月11日
 連 絡 先：久留米市社会福祉協議会 0942-34-3035

碑 文

【表】

戦災死者之霊碑

【裏下部】

発起者
 久留米市長 山下 善助
 （個人名）

説 明 文

戦災死者之霊碑

- 一、 第二次世界大戦末期の昭和二十年八月十一日午前十時三十分頃、わが郷土久留米市上空に現れた米軍戦爆連合（B24・B29・その他）約百五十機による油脂焼夷弾投下で炎天に乾き切った市内は、一瞬にして猛火に包まれ地獄さながらの惨状となりました。このことは、有史以来私たちの祖先がかつて経験したことのない災害であります。
- 二、 この霊碑は、郷土防衛の犠牲となられた二百十四名の尊い生命を悼み犠牲者を最も多く出した小頭町公園の一角に昭和二十七年八月十一日建立されました。
- 三、 久留米市においては、戦争の惨禍を二度と繰り返さないために、昭和五十九年七月に「久留米市は核兵器の廃絶と恒久平和を願う水と緑の人間都市である」と宣言し、平和事業を推進しています。

久留米市

25 久留米空襲戦災死者慰霊式



※写真提供 久留米市

開催概要（平成25年度）

歳事名：久留米空襲戦災死者慰霊式
 会場：小頭町公園内 戦災死者之霊碑前
 住所：福岡県久留米市小頭町7
 （西鉄電車 西鉄久留米駅 徒歩14分）
 日時：平成25年8月11日（日） ※例年8月11日開催
 参列者数：100人
 連絡先：久留米市社会福祉協議会 0942-34-3035

式次第（平成25年度）

1. 黙 祷
2. 表 白
3. 式 辞…久留米市社会福祉協議会会長 川地東洋男
4. 追悼の辞…久留米市長
5. 追悼の辞…久留米市議会議長
6. 祈念電文
7. 読経焼香

式 辞（平成25年度）

本日、ここに、久留米市戦災死者慰霊の式典をとり行うにあたり、慎んで哀悼の誠を捧げ、亡くなられた多くの方々の御霊のご冥福を、心よりお祈り申し上げます。

顧みれば、今から六十八年前、昭和二十年八月十一日の午前十時三十分、突然久留米の空を襲った、戦略爆撃機の攻撃により、瞬く間に市街地の四分の一が焼失し、罹災者二万余名、そして二百十四名もの尊い生命が奪われました。

この大空襲により、それまで長年にわたって生業に励み、営々と築き上げてきた久留米の町は僅か一日にして焦土と化し、まさに、戦争の悲惨さと冷酷さを目の当たりにしたところであります。

ここに慎んで、戦争の犠牲になられた二百十四柱の御霊に思いをいたし、また、ご遺族のご心中をお察し申し上げ、心より哀悼の意を表する次第であります。

あの悪夢のような大空襲から、早六十八年を迎え、今年で六十二回目となる慰霊式を、迎えることができました。

この間、我が国は平和国家の建設に取り組み、ひたすら焦土からの再建と経済の発展に努力してまいりました。本市もまた、先人たちの血のにじむような努力により、人口三十万の中核市となるまでに、遅しく成長を遂げてまいりました。

しかしながら、今日の私たちの平和と繁栄は、先の大戦における御霊の尊い犠牲のうえに築かれたものであることを、忘れることは出来ません。

残念ながら、今もつてこの地上から、紛争や残虐な事件が絶えることはなく、尊い命が失われているのが現状であります。

私たちは、戦争や紛争の最大の犠牲者は、いつも一般市民であることを思い、改めて、世界平和を強く望まざるにはられません。また、安全で安心して暮らせるまちづくりの実現が市民の最大の願いであることを改めて心に刻み、さらに努力していかねばなりません。

間近に終戦記念日を控えた本日、私たち三十万市民は心から御霊のご冥福と、ご遺族への限らない御加護を賜りますよう、祈念申し上げまして、式辞といたします。

平成25年8月11日
 久留米市社会福祉協議会
 会長 川地 東洋男

26 一ツ木延命地藏菩薩



基本情報

所 在：寶満宮（一ツ木神社）
 住 所：福岡県朝倉市一木174
 （甘木鉄道または西鉄電車 甘木駅より 甘木観光バス「一ツ木神社前」下車 徒歩1分）
 建 立 者：大刀洗空襲遭難者遺族一同
 建 立 年：昭和20年11月20日
 連 絡 先：個人であり記載せず

碑 文

【表】

延命地藏菩薩
 （空襲遭難者 故人名）

【裏】

昭和二十年
 十一月二十日
 建立

説 明 文

一ツ木延命地藏菩薩の由来

古来、当地は北に太平山を仰ぐ静かで豊かな平和郷であったが、太平洋戦争勃発により、近くの大刀洗飛行隊を中心に航空廠、製作所、高射砲隊、陸軍病院等が設置され、一大軍都と化していった。かくて昭和二十年三月二十七日、午前十時ごろ、大刀洗を目標とする米軍のB29爆撃機の大編隊による初の空襲に見舞われたのである。

折から、修業式の最中であった立石国民学校児童は警報と共に地方別に急ぎ帰途についたが、一ツ木地方の児童が生徒隊付近に至るころに、大刀洗の爆撃が始まりこのまま一ツ木に帰ることが危ぶまれ引率訓導の指示により学校近くの新田の森へ退避したのであったが、不運にも退避し終った刹那、投下された爆弾により大多数の児童の命を奪ったのである。即死せし児童二十四名、重軽傷十数名の犠牲を出し後刻死亡せし児童と合わせて三十二名という大惨事となったのである。

一瞬にしてわが子を失った親の悲しみと、切なさは、やがて平和を願い亡き子の冥福を祈る心の現われとして、遺族一同相はかり同年十一月二十日この延命地藏の建立となったのである。

この地藏は、たとえ国家非常の時とはいえ、無垢で明るく天使のようないたいけな児童達の命を爆死という最も無惨な姿で奪われた親心の、二度とくりかえしてはならない戦争への憤りであり、恒久の平和を願って止まない叫びであることを銘記すべきである。

27 3・27 平和の碑のつどい



※写真提供 筑前町

開催概要（平成24年度）

歳事名：3・27 平和の碑のつどい
 会場：筑前町 依井・熊ヶ山 平和の碑前
 住所：福岡県朝倉郡筑前町依井2500-1
 （JR二日市駅より 西鉄バス「新町」下車 徒歩15分）
 日時：平成25年3月27日（水） ※例年3月27日開催
 参列者数：80人
 連絡先：筑前町 企画課 0946-42-6601（直通）

式次第（平成24年度）

1. 開会のことば
2. 黙とう
3. 筑前町長式辞
4. 来賓紹介
5. 大刀洗空襲に関わる語り部
6. 献 句
7. 朗 読「鎮魂（みたましずめ）」
8. 献 花
9. 閉会のことば

式 辞（平成24年度）

本日ここに、「第17回 平和の碑のつどい」を挙げるにあたり、旧大刀洗飛行場の空襲で犠牲になられた御霊に、謹んで追悼の誠を捧げます。時の流れるのは早いもので、あの空襲から68年の歳月が流れました。空襲において、「大空への夢」を目指していた若者をはじめ、多くの関係者が祖国の平安と発展を祈りながら、散華された犠牲者の在りし日の面影を偲び、改めて心から御冥福をお祈り申しあげます。また、かけがえのない最愛の肉親を失いながらも、戦中戦後の幾多の苦難を乗り越えられた、御遺族の深い悲しみや苦しみは、いかばかりであったかと、長年の御苦労をお察し申し上げ、深く敬意を表する次第でございます。

さて、「筑前町立大刀洗平和記念館」が開館しまして四年目を迎えています。この記念館は、旧大刀洗飛行場があった、この地で起きた歴史の真実と、平和の大切さを、国を背負って立つべき青少年に永久に語り継いで行くために、その情報を発信するために設置したものでございます。お陰様で多くの方に来館いただいております。来館された方には常設展示、シアターあるいは朗読等を御覧いただき「戦争の悲惨さ」から「平和の大切さ」を肌で感じていただいているものと思います。町は、この施設が「平和を願うまちづくり」のシンボルとして、その機能を発揮するようにしっかりと運営に努めて参る所存でございます。

あの忘れもしない3・11東日本大震災の発生から丸2年が経過しました。この大災害からも「命の尊さ」を改めて認識する機会でもありました。私たちには、明日を担う若者たちへ、平和の有難さ、命の尊さ、そして戦争がない時代にいる今の幸せ、その大切さを語り継いでいく責務がございます。ここに改めて、恒久平和の確立と、心豊かに暮らせる生活の実現のため、全力を尽くしていくことをお誓い申し上げまして、式辞といたします。

平成25年3月27日
 筑前町長 田頭 喜久江

28 筑前町戦没者追悼式



※写真提供 筑前町

開催概要（平成25年度）

歳事名：筑前町戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：めくばー町民ホール
 住所：福岡県朝倉郡筑前町久光951-1
 （JR二日市駅より 西鉄バス「新町」下車 徒歩4分）
 日時：平成25年9月28日（土） ※例年10月中旬開催
 参列者数：147人
 連絡先：筑前町 福祉課 高齢者福祉係 0946-24-8763（直通）

式次第（平成25年度）

- | | |
|---------------|---------------------------|
| 1. 国歌斉唱 | 7. 献花（参列者全員） |
| 2. 開式のことば | 8. 町長あいさつ |
| 3. 黙祷 | 9. 遺族代表謝辞 |
| 4. 町長式辞 | 10. 朗読（平和のメッセージ）
（虹の会） |
| 5. 遺族代表追悼のことば | 11. 閉式のことば |
| 6. 来賓代表追悼のことば | |

式辞（平成25年度）

本日ここに、多数のご遺族並びにご来賓の皆様をお迎えし、平成25年度筑前町戦没者追悼式を挙げるにあたり、戦没者各位の御霊の前に謹んで追悼の誠を捧げます。

時の流れは早く、数多くの尊い命が失われた先の大戦から、68年の歳月が過ぎ去りました。今、こうして、苛烈を極めた戦闘の中で祖国を思い、家族を案じつつ、心ならずも戦場に倒れた方々、また国内外で戦禍に遭われ命を落とされた方々、あるいは遠い異郷の地で無念にも最期を遂げられた方々に思いをはせるとき、悲痛の思いが尽きることなく込み上げてきます。

ここに、改めて戦没者の方々のご冥福を心よりお祈り申し上げるとともに、最愛の肉親を失われ、時を経てなお癒されることのない深い悲しみを抱えながら、苦難を乗り越えてこられたご遺族の皆様、そのご苦労に対しまして深く敬意を表する次第でございます。

戦後、わが国は、一貫して平和の道を歩み、国民のためめぬ努力により幾多の困難を克服し、世界的にもめざましい経済発展を遂げてまいりました。

かつて東洋一を誇った大刀洗飛行場の航空拠点は、今日、平和の一大拠点として大刀洗平和記念館が建設され、この地で起きた歴史の真実と、平和の尊さを永久に語り継いでいくための情報発信基地へと生まれ変わりました。

さらに風化しつつある戦争の悲惨さ無情さと恒久平和の願いを後世に語り継ぐため、平和のメッセージ募集を行いました。多くの声が全国から届けられ、平和への思いが詰まった作品集として完成いたしました。

本日の追悼式に臨み、過去を謙虚に振り返り、悲しみの歴史を繰り返さないとの決意を新たに、不戦と平和を守り、温かくお互いを思いやり支えるまちづくりに一層の努力を重ねますことを、ここに固くお誓いいたします。

結びにあたりまして、ふるさと筑前町の平和と繁栄を守り続ける決意を新たにいたしますとともに、戦争の犠牲となられたすべての方々の御冥福と、ご遺族の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げ式辞といたします。

平成25年9月28日
 筑前町長 田頭 喜久己

29 大刀洗空襲慰霊供養



※写真提供 豊福健吾

開催概要（平成25年度）

歳事名：大刀洗空襲慰霊供養
会場：原地蔵公民館
住所：福岡県朝倉郡筑前町原地蔵2226
（甘木鉄道 大刀洗駅 徒歩8分）
日時：平成25年3月24日（日） ※例年3月27日直近の日曜日開催
参列者数：130人
連絡先：大刀洗空襲慰霊供養実行委員会 個人宅のため記載せず

式次第（平成25年度）

1. 1分間黙祷
2. 開会の言葉
3. 挨拶…原地蔵区長 熊手優、福岡地区明るい社会づくり運動協議会 会長 川崎賢治
4. 来賓紹介
5. 読経供養
6. 追悼電報披露
7. 語り部…「母ちゃん、僕、震えがとまらない」長谷川幸雄
8. 人権作文朗読…「大刀洗大空襲から学んだこと」小郡市立大原中学校2年
9. 子ども達の唄…原地蔵子ども会の皆さん
10. 献花
11. 挨拶…大刀洗空襲慰霊供養実行委員会 実行委員長 豊福健吾
12. 閉会の言葉

挨拶（平成25年度）

今年も大刀洗空襲慰霊供養を開催いたしましたところ多数の皆様にご参加いただきありがとうございました。今年で第21回の慰霊供養となりますが、これも関係者及び地元ボランティアの方々のご支援とご協力の賜物と感謝しております。

私が実行委員長になった当時は、毎年毎年同じように供養をしていけば良いと思っておりました。しかし、年々回を重ねる毎に少しずつ若い世代の方にも参加していただけるようになり、お世話する私達にとりまして嬉しい限りです。

毎年この日にお会いする方々とも「お久しぶりですね」とあいさつを交わすようにもなりました。このつながりを大切に、『平和を願い、次世代に語り継ぐ』この慰霊供養がいつまでも続きますよう、今後とも皆様のご協力とご参加をお願いして私の挨拶といたします。

実行委員長 豊福健吾